

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ  
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ  
み国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ  
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ  
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく  
われらの罪をもゆるしたまえ  
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ  
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、  
なんじのものなればなり

アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会ったイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: [i-eikou@tohoku.uccj.jp](mailto:i-eikou@tohoku.uccj.jp)

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

|          |       |         |
|----------|-------|---------|
| 聖日礼拝     | 毎週日曜日 | 午前10:30 |
| 早朝礼拝     | 毎週日曜日 | 午前7:30  |
| 交わりの会    | 毎週日曜日 | 礼拝後     |
| み言葉と祈りの会 | 毎週水曜日 | 午後7:30  |

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、  
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2502

待降節第二主日  
礼拝式順序

2025年12月7日



受付  
司会  
献金  
奏楽

礼拝当番は  
礼拝堂に集まった人の中で  
可能な方に担当いただきます。

前奏

招きの言葉 [15] ローマの信徒への手紙第13章12節

讃美歌 27

子どもたちへの話

祈り

聖書 ルカによる福音書21章28節  
(新約聖書152ページ)

讃美歌 240 (1-2 節)

お話し 「身を起し、頭をあげよ」  
川上直哉 牧師

讃美歌 240 (3-5 節)

献金

報告

讃美歌 91 (1節)

祝福の祈り

後奏

\* 当教会では 着席のまま礼拝を守っています。  
\* 旧約聖書は前半 (P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。  
\* 献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

お知らせ

2025年1月10日(土)に地区協議会が、別紙のとおり、行われます。  
2025年1月から、礼拝後に「カルト」問題の読書会を、開始します。

今週の集会

☆ 柴宿教会礼拝参加 12月7日(日)14:30～  
☆ 「聖なる父」読書会 12月8日(月)19:30～ オンライン  
☆ 「御言葉と祈りの時」 12月10日(水)19:30～ オンライン併用

次週の予告 (12/14)

☆ アドベント第三主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)

[ 聖 書 ] イザヤ書40章3－10節

[ お 話 ] 「道ぞなえ」

[ 讃美歌 ] 28 2370 91 [招きの言葉] 12

受 付

奏 楽

礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で  
可能な方に担当いただきます。

お知らせ

◆今後の予定は以下の通りです

・12月21日(日)クリスマス礼拝

・12月24日(日)クリスマスイブ礼拝(19時半から)

・12月29～31日 能登支援(ワイズメンズクラブ・東北ヘルプと共催)

・1月10日(土) 宮城北地区協議会

・1月18日(日)日本基督教団東北教区宮城中地区との講壇交換  
石巻栄光には齋藤朗子先生がお越しになり、川上牧師は仙台宮城野教会に参ります。

《 先週の集会統計 》

|             |         |               |     |
|-------------|---------|---------------|-----|
| 聖日礼拝        | 12人     | み言葉と祈りの会      | 10人 |
| 早朝礼拝        | 2人      | 聖餐式           | 5人  |
| 月定献金        |         | 特別献金          |     |
| 森邦子 (12-3月) |         | 森邦子 (クリスマス献金) |     |
| 席上献金        | ¥18,650 |               |     |

# 週報別冊

2025 年 12 月 7 日号

## 1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

### 【日本基督教団・東北教区関係】

- 「エマオ通信」（日本基督教団東北教区センター・エマオ）：目の手術を無事に終えられた齋藤篤先生の報告「あっちゃん主事 近況」等が掲載されています。
- 「ノヤ」（日本基督教団北海教区アイヌ民族情報センター）：アイヌの方々の「遺骨を収集・保管し研究調査に用いてきた歴史」をお詫びする文書の問題を指弾している「東京大学の『謝罪』に関して」（アイヌ民族情報センター主事 三浦忠雄さん）等が掲載されています。
- 「アイヌ奨学金募金キリスト教協力会ご支援のお願い」（日本基督教団北海教区宣教部平和部門委員会 委員長 大川清）：「13名の奨学生（大学生6名、高校生7名）」等への支援を続けている活動への献金要請を頂きました。
- 「第76回公開東北学院クリスマス」（学校法人東北学院）：東北教区事務局より「東北教区の仲間の、東北学院」の活動を分かち合いたいと、連絡を頂きました。
- 「労伝ニュース」（日本基督教団浪花教会内 関西労働者伝道委員会）：「大阪教区社会委員会連続講演会『70年万博の全容』に参加して」（関西労働者伝道委員会 委員長 大谷隆夫さん）等が掲載されています。
- 「我らの内なる核爆発——もはや脅かされることなく」（日本基督教団庄内教会）：「ぜひ宜しければご一読を！」と、矢澤牧師からお送りいただきました。
- 「角笛」（日本基督教団仙台北三番丁教会）：鈴木貞子さんが寄稿された「切支丹研修報告」等が掲載されています。
- 「沖縄キリスト教センター通信」（ぎのわんセミナーハウス）：2025年度のプログラム活動報告等が掲載されています。

- 「募金のお願い——大規模修繕のために」「クリスマス献金のお願い」（日本基督教団 隠退教職ホーム にじのいえ信愛荘）：「例年に比べて献金額が減少しており、また食費の経費が約三割増加したことによる支出の増加もあり、厳しい状況があります。このままでは、今年度は約1千万円の赤字の見通しとなっています」という状況の中で「1億円」の修繕工事を2035年まで続ける計画であるとのこと。
- 「他民族・多文化社会に生きる」（日本基督教団 在日韓国朝鮮人連帯特設委員会）：3.11の際に「外国人被災者支援プロジェクト」で尽力下さった佐藤信行さんの講演「“外国人は優遇されている”のか？」等が掲載されています。

### 【その他教会・団体関係】

- 「原告団 NEWS」（宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判）：「第8回口頭弁論に行ってきました！」（日本基督教団牧師 岡田仁さん）等が掲載されています。
- 「Net Work News」（女性の家 HELP）：シェルターにたどり着いた方に「ゆっくり休んでいただきたい。安心して過ごしていただきたい。スタッフ一同の願いだ。『ここが貴女のお部屋です！』と鍵を渡す」と記す「なんとお呼びしましょうか？」（施設長 松井弘子さん）等が掲載されています。
- 「FEBC 1566」（キリスト教放送局 FEBC）：「『ヒトラーを暗殺しようとした牧師』その信仰に迫る」等が掲載されています。
- 「ひかりの家」：「一人一人の子どもを神様から与えられたかけがえのない存在として、愛情をもって育てます」という設立趣旨をもって1973年に山梨にある日本基督教団市川教会と市川幼稚園が母体となって生まれた児童発達支援センターからの通信です。
- 「Light of Life」（基督聖書塾）：「ベツレヘムの生誕教会」の写真などが掲載されています。
- 「Global」（OM 宣教団）：中澤先生の「実践宣証会議」の事務局をしておられる「登米コミュニティチャーチ」の紹介が掲載されています。

- 「ANNUAL REPORT 2024」(WCRP 日本委員会) : 川上牧師も委員をしている諸宗教協働の団体の年次報告書を頂きました。

## 2. 牧師動静

### 12月1日(月)

日中、福島市と郡山市を訪ねて東北ヘルプと「ふくしま YMCA」の執務を執りました。

### 12月2日(火)

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後、エマオで執務しました。

### 12月3日(水)

午前中、蛇田の復興公営住宅集会場で行われる YMCA ストレッチヨガ教室のお手伝いをし、午後、仙台 YMCA で「ワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会」の会議に参加し、夜、祈祷会を主宰しました。

### 12月4日(木)

午前中、一件の訪問をして読書会と聖餐式を行い、午後、休暇を頂きました。

### 12月5日(金)

朝、尚綱学院中学高等学校でチャペルを担当し、午前中、エジプトからの難民の方と面談し、午後、教誨師篤志面接員合同研修会に出席しました。

### 12月6日(土)

日中、仙台白百合女子大学カトリック研究所の研究会に参加し、夜、石巻で集会に出席しました。

- 日本基督教団鳴子教会気仙沼集会の小野寺牧師から、聖餐式用の「ぶどうジュース」の献品を賜りました。感謝して報告いたします。
- 12月29~31日に行われる「能登支援」(ワイズメンズクラブ DBC 主催・日本基督教団石巻栄光教会共催)について、宮城北地区役員会より、4万円の補助を頂きました。感謝して、報告いたします。

### 12月8日(月)

日中、教会で執務し、夜、「聖なる父」読書会をオンラインで主宰します。

### 12月9日(火)

朝、教会で「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、夜、「宣教論」読書会をオンラインで主宰します。

### 12月10日(水)

日中、福島市で「ふくしま YMCA 設立準備委員会」に出席し、夜、祈祷会を主宰します。

### 12月11日(木)

午前中、一件の訪問をして読書会と聖餐式を行い、午後、東北少年院でクリスマス会を主宰し、午後、石巻で「多文化国際霊園」の会議を持ちます。

### 12月12日(金)

午前中、教会で執務し、午後、仙台でワイズメンズクラブの会議に出席します。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、お会いしたく存じます。

## コラム

### あっちゃん主事 近況



イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、また見えるようになることです」と言った。  
(新約聖書マルコによる福音書10章51節、聖書協会共同訳)

ちょうど一年前のある朝のことでした。いつものように目覚めたとき、左眼に異変を感じました。ぼんやりと光を感じることがあってもまったく見えないのです。目をこすっても目薬をさしても、何をしても視力が戻ることはありません。すぐに病院へ行きました。眼底が出血しているために見えるのだということが分かりました。それだけではありません。白内障もあってそれが見えにくくさせているのだと。そういえばここ1~2年、見えにくくなってきたと思っていたのです。

治療が始まりました。しかし、良くなったと思えば悪くなり繰り返して、そうしているうちに「本当に治るのだろうか」と不安に囲まれながら、非常に不便な生活をしなければならませんでした。しかし、幸いなことにセカンドオピニオンで出会った病院と医師のすすめで手術をすることとなりました。今年10月に左眼のみならず右眼も手術をおこなった結果、まるで世界が変わったかのように、視界がくっきりと戻りました。本当に感謝でした。

いみじくもこの時に、この聖句に改めて出会いました。「また」見えるようになりたいのですと、盲人はイエスへ願いました。この「また(再び)」というひと言に、私は希望を見いだしたのです。視力が回復するというのは、以前とはまた違った世界が訪れるということなのだ。その世界にイエスが親しく臨んでくださることを、私たちはクリスマスを迎えるなかで心に刻みつつ、喜んでそれを祝いたいと思わされたのでした。

文：主事 齋藤 篤

# 切支丹研修報告

鈴木貞子

北三会で切支丹研修会の話がでて、まず有志で行ってみたいと太田博子、郡司百合子、菅野しほ、鈴木貞子の四人で、石巻栄光教会牧師の川上直哉先生に相談したところ少人数の方が自分の車で細い山道も案内できるからと、早速五月二十日案内してくださいました。

まず貞山堀と北上川の閘門である運河交流館（水の洞窟）へ。北上運河の歴史や読書、また散歩の拠点となるよう隈研吾氏の設計で建設されたと聞き驚きました。川風が涼やかでした。

次は「お鶴明神」北上川治水難工事の際、人柱になったお鶴を祀った所です。基督教徒として人柱？と思いつながら……。そこには昔から民間信仰として人柱信仰が根深くあるのですね。

お昼は「林林館」で登米の名物郷土料理はつと定食と油麩丼を皆で分けて美味しくいただきました。

次は大籠、この地方は昔から製鉄や炭の生産が盛んで、現在も良質な茶道用炭を産し有名だそうです。

戦国時代この地方を治めていた葛西氏は家来の千葉土佐に命じ、鉄鉞技術指導者を探しに今の神戸の辺り（瀬戸内地方は当時、製鉄が盛んで有名でした）に行き、千松大八郎、小八郎兄弟の二人を指導者に迎えました。

彼らは切支丹でもあったことからますます基督教が広まり、およそ数万人も切支丹がいたと複数の文書にあります。戦国時代、米沢にいた伊達家も政宗の祖父の代から切支丹武士集団や、石工の四集団などを招き保護しました。現在でも仙台城や江戸城のお堀など有名です。政宗は一六一三年（慶長使節派遣）家康の承認も受け太平洋側に長崎をしのぐ外交港を造るべくメキシコ、スペイン、ローマ

へ支倉常長に手紙を託し派遣しました。

家康の死後三代目家光は外敵を切支丹と結び付け基督教禁止令発布、信徒弾圧の結果全国に切支丹処刑の嵐が吹き荒れました。

地蔵の辻（大籠殉教記念公園へ行く手前）では、踏絵を踏まない、つまり信仰を捨てない者は処刑、首を落とされ放置し見せしめとされました。情景を思うだけでも私達ならすぐ踏むでしょう。

大籠殉教公園資料館では、本の中に十字架を隠したり、観音像の後ろに十字架が見えないようにしたり、迫害に屈せず信仰を貫いた姿や、遺物、模型等を見ました。公園の丘へ続く石段（三〇九段）は殉教者の数だそうです。

丘の上のクルス館には、舟越保武制作の十字架上のキリストとマリア像があります。私達は体力弱者なので丘に登れなくて残念でした。丘の上の鐘カリオンが響いていました。

公園の裏の細い山道を車で登って行くと、当時鉄を製した炯屋で働いていた人々の住居跡といわれる緑地が点々とあり、一つの炯屋に働き手百人いれば家族五人として五〇〇人、炯屋十ヶ所あれば五千人：近くの大庄屋遺物古文書等にも数万人とあり、長崎をしのぐ信徒数であったようです。

今回の研修の最後に、時宗長徳寺（切支丹隠れ蓑の寺）を訪問しました。「江戸時代、この地域のほとんどが切支丹信者であったが、寺請檀家制度により現在に至る。」

（宗門改帳に記載されている）現在の戸籍制度のようなことを寺に請け負わせたのです。放置されていた遺骨も集め、遺族と共に





# 1. 諸宗教間対話・ネットワークを通じた宗教協力

## (2) 紛争和解への取り組み

### (4) 能登半島地震復興支援



2024年1月1日に発生した能登半島地震に対して、WCRP日本委員会は被災者支援のための勧募金を呼びかけた。その後、能登半島での現地調査を行い、障がいをもった方など特別な支援や配慮を必要とする人々のために、現地で支援活動を行う能登ルネッサンスプロジェクト、NPO法人石川バリアフリーセンター、輪島市社会福祉協議会への支援を行な

った。また、避難所で被災者の方々を対象とした傾聴カフェを開催する中部臨床宗教師会の活動を支援した。11月14日には、災害対応タスクフォースのメンバーを中心に、元日の大地震と9月の豪雨で2度にわたって被災した能登半島の輪島市を訪問し、「追悼と鎮魂ならびに復興祈願式」を挙行了た。



に慰霊し続けてきたお寺です。二〇二二年九月十七日、三者（仏教、旧教、新教）合同の慰霊祭がありました。石に十字架型を切り抜き、中に鉄の風鈴、風にチリン・チリンと響く音は古より今に繋がる命の音の様でした。現住職は北仙台中の卒業で深い縁を感じます。お留守中にも関わらず奥様にお茶を頂き、ご馳走様でした。

帰途中車でマイクで殉教の歴史を聞きながら、私達の信仰を改めて考えさせられました。私達言いたい放題のおばちゃんおしゃべりに我慢強く耐え、ご案内頂いた川上先生、本当にありがとうございました。



宮城北地区



# 地区協議会 2025



2026年1月10日(土)

午後1時～3時

いずみ愛泉教会

(仙台市泉区将監10丁目12-1)

参加費・申し込み不要

主題：「支え合う喜び」

開会礼拝 小松理之牧師(石巻山城町教会)

発題①「宣教共働って何？ー共働？協働？共同？ー」

佐々木栄悦牧師(登米教会)

発題②「どうする分担金？どうなる災害時活動基金」

宮本約さん(石巻栄光教会)

全体協議会 (分団協議はありません)

私たちは北地区の「宣教共働」について、深く知る機会が少なかったかもしれません。今回の協議会では、地区諸教会から献げられた賜物をどのように用いていくか再度点検し、互いに支え合って主の業に励むことの喜びを確認したいと思います。

どうぞお誘い合わせの上、ご参加ください。

駐車場：できるだけ乗り合わせていただければ幸いです。